

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市錦ヶ丘児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》44,391人（前年度比 94.9%） 平成30年度 46,757人 平成29年度 44,147人 平成28年度 35,298人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 70,985千円（68,223千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円） 《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）
		( )は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ブログの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、登録人数の多い大規模クラブではあるが、子どもを縦割り構成にし、部屋ごとに担当職員を決めて配置するなど、安心して落ち着いて過ごすことができる環境づくりに努めている。また、子どもの遊びを保障するために、職員が魅力ある遊びを創意工夫しながら提供し、子ども同士の関わりを支援している。保護者との連携を大切に、毎月の児童クラブ通信の発行や全家庭との個別懇談を行っており、子どもの様子を丁寧に共有しながら、育成支援に努めている。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>開館以来、「子どもの笑い声と、笑顔のあふれる児童館」を念頭において運営をしてきました。今年は地域の方や近隣の施設と、より深い関係性を築けた1年でした。尚、一層安心して子育てできる町の児童館を目指していきます。</p> <p>(1) 放課後児童クラブの運営 魅力ある遊びを常に展開できるように「静」と「動」の時間をバランス良く取り入れました。子どもの成長に合わせ、丁寧な対応を意識し保護者との情報共有に努めました。支援の必要な子どもにはその子どもにあったプログラムを提供し、安定した生活が送れるように部屋の環境を整えました。</p> <p>(2) 児童健全育成事業 4月に開校した錦ヶ丘中学校との連携をはじめ、近隣の高校生との交流をもつことができました。異年齢交流は常に意識し国際交流も身近に捉えながら活動を行いました。美術や造形、音楽を日常に取り入れながら表現をすることの素晴らしさや想像力を養う時間を設けました。</p> <p>(3) 子育て家庭支援事業 地域の方の読み聞かせや幼児クラブを中心に、子育て世代の集う場を用意しました。子育ての悩みを抱えたサークルや多胎児のサークルの活動をサポートし同じ悩みを抱えた保護者の居場所づくりも支援しました。子育て支援クラブの行事に職員も協力して充実したイベントの企画を行いました。</p> <p>(4) 地域との連携 錦ヶ丘の夏まつりやお正月遊び、餅つき大会など民生委員をはじめたくさんの方々と触れ合うことが出来ました。また、地域の防災訓練や保育所訪問など児童館から積極的に働きかけ、地域から見守られているという実感ができた年でした。春のお茶会では、直接地域の方々からお茶のお点前を習うなど伝統文化に触れることができ子ども達の刺激になり貴重な経験が出来ました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>中高生の健全育成事業では、従来行ってきた取組みに加えて、今年度は、4月に新たに開校した錦ヶ丘中学校との連携を積極的に進めており、美術部が、年3回「アート児童館」と称して児童館内を装飾してくれたり、野球部やバスケット部の部員が夏休みに小学生と遊んでくれるなど、中学生以上の来館者が増えている。児童クラブの登録児童が多い中ではあるが、中学生以上についても適切に機会を捉えて児童館利用につなげており、異年齢交流に努めている点が評価できる。</p> <p>乳幼児親子対象事業の「カラフルカフェ」では、季節ごとに多彩な行事を開催するほか、親子遊びを中心に母親がリフレッシュできるものや育児相談など気軽に参加できるものを中心に展開しており、活動の後には、お茶を飲みながら参加者同士の交流の場を設けている。夏休み企画の「コミセンであそぼう ベビラブ」では、夏季休業中に、日常遊びの中で小学生と乳幼児親子の触れあいの場を設けるなど、利用者同士をつなぎ異年齢交流にも努めている。</p> <p>小学生を対象とした事業としては、「子どもスタッフ」を募集し、「児童館まつり」の企画運営の活動を通して子どもの主体的な活動を支援している。また、小学生が参加している影絵劇団「つきのえ」では、子どもが自分達で考え意見を述べ制作活動に取り組み、発表する機会を提供するなど、子どもの自主性、社会性、創造性を育む支援に努めている。</p> <p>今年度初めて実施した「めですこ支援地域交流会」と、小学校の「おやじの会」との合同企画の節分行事「おとうさんも一緒」では、親子で長い太巻き作りに挑戦するなど、父親も巻き込んだ地域の交流の場として、大きな意義をもつ取り組みになった。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課